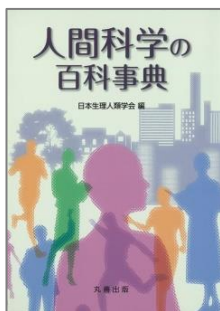




MeL分野別カタログ 生命科学

2018年 最新刊



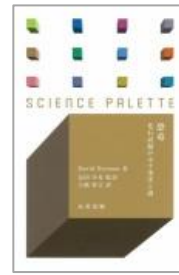
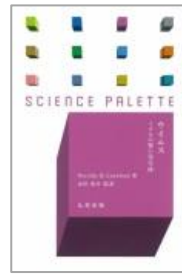
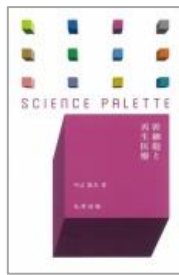
書名	著編者	発行年	冊子版ISBN	同時 1アクセス (本体)	同時 3アクセス (本体)	商品コード
環境とエピゲノム —からだは環境によって変わるのか?—	中尾 光善著	2018年	9784621302729	¥7,260	¥10,890	1027296240
本書では、酸素・温度・食事・化学物質・ストレス・時間などの身近な環境を取り上げながら、細胞が環境をいかに感知し、応答し、記憶していくのかを、エピジェネティクスをキーワードに読み解きます。最新の生命科学からみえてきた、環境と健康・病気の関係を知ることができます。						
人間科学の百科事典	日本生理人類学会編	2015年	9784621088302	¥66,000	¥99,000	1024761519
人間はどのような生き物で、どう暮せば健康で快適に過ごせるのか。感覚・遺伝・体の構造といった人間の「仕組み」から、自然環境・社会・文化、社会生活の営みなどがどう体・心に影響を及ぼすのかを、生理人類学の観点から究明する今までになかった事典です。人間科学に関連する重要な中項目約260を選定し、それらを「ヒトの遺伝」「カラダの構造」「カラダの機能」「脳と心」「ヒトの感覚」「ヒトと環境」「ヒトの営み」「健康と福祉」「社会と文化」「ヒトを測る」の10章の中で解説しています。						
脳は いかにして 数学を生みだすのか	武田 暁著	2016年	9784621301029	¥10,560	¥15,840	1024118016
数学・哲学とは何なのかを問われたら、あなたはどのように答えますか? 「数学は数の学問である」でしょうか? 数学や哲学の専門家でも、この疑問に答えるのは難しいかもしれません。その理由は、エジプト、バビロニア、中国等における古代の数学は、数の学問でしたが、今日では数学の対象は数論・幾何学を越えて広がっているからです。長年、素粒子物理学の理論の研究をしてきた著者は、脳科学に魅せられて、これまで物理学や言語を生み出す脳機能について世に問うてきました。自然を眺めるだけでは物理法則を明らかにできず、物質世界の世界像を形成するのは心の働きであり、その働きと脳機能の理解がなくては、自然を理解できないと考えています。そして本書では、数学を生み出す脳機能について問います。数を把握する脳機能、論理的推論を行う脳機能、抽象化した概念を生みだし操作する脳機能とは何かを明らかにすることが必要と考えているからです。脳の数理機能が専門ではない方にもわかりやすく解説しています。						
ジャンクDNA —ヒトゲノムの98%はガラクタなのか?—	Nessa Carey著 中山潤一訳	2016年	9784621300039	¥9,240	¥13,860	1020782150
「遺伝子はタンパク質をコードするDNA配列」と定義されていますが、私たちのゲノムの中でタンパク質をコードしている配列はたった2%で、残りの98%は機能のわからない配列で占められています。この機能のわからない部分は「ジャンク(ガラクタ)」とよばれ、その存在意義は長い間不明なままでした。本書は、私たちにとって比較的身近ながんや筋ジストロフィーなどの遺伝病を通して、この「ジャンク」の機能に切り込んでいます。本書の中で紹介されている約40種の病気は、ジャンクDNAの中の変化が原因となって起きているのです。						

・表示価格は税抜きです。

・タイトル末尾の(※)はダウンロードが出来ません。

2019年2月

Maruzen eBook Library は、学術・研究機関のための学術情報に特化した電子書籍をご提供する丸善雄松堂オリジナルのプラットフォームです



書名	著編者	発行年	冊子版ISBN	同時 1アクセス (本体)	同時 3アクセス (本体)	商品コード
エピジェネティクス革命 —世代を超える遺伝子の記憶— (※)	Nessa Carey著 中山潤一訳	2015年	9784621089569	¥9,240	¥13,860	1019315054
ヒトゲノム解読によってヒトの設計図が手に入ったとき、私たちの健康や病気の問題のほとんどは解決目前と思われました。しかし、現実にはそんなに簡単ではありませんでした。DNA配列だけで説明できない、エピジェネティクスが関わる現象が身のまわりには多数あります。本書では、iPS細胞発見の経緯、一卵性双生児の差異、老化、子育て、ストレス、妊婦の栄養状態と子どもの肥満、がんの新しい治療、女王バチと働きバチの違いなど様々な例を取り上げ、分子生物学者たちの研究の歴史から、現在明らかになっている分子的基盤まで、著者ならではの取材にもとづいてわかりやすく解説しています。						
幹細胞と再生医療 (サイエンス・パレット 026)	中辻憲夫著	2015年	9784621089439	¥3,300	¥4,950	1019315059
この分野で日本をリードしてきた著者が、多能性幹細胞の特徴、倫理問題の本質、世界の状況、そして治療や創薬への応用について、いま私たちに必要な知識を提供します。基礎研究で得られた知見を実際の治療につなげるにはどのような技術やプロセスが必要か、実用化への道筋がわかるのが本書の特長です。						
ウイルス —ミクロの賢い寄生体— (サイエンス・パレット 016) (※)	Dorothy H. Crawford著 永田恭介訳	2014年	9784621088166	¥3,300	¥4,950	1017819864
私たちの歴史はウイルスとともにあるといっても過言ではありません。天然痘、黄熱病、SARS、AIDSなどの感染症の流行は、人類社会に大きな影響を及ぼしてきました。人類はウイルス感染から身を守る免疫システムを発達させ、ワクチンをはじめとした予防法や治療法を開発する一方、ウイルスも急速な変異でその裏をかく戦略を展開し、互いに進化しているのです。本書では、人類のウイルス観の変遷、感染のしくみ、さまざまな感染症の起源と現状、治療技術の進歩、ウイルスの地球生命圏における役割、そして私たちとウイルスとのこれからの付き合い方に関する提言まで、ウイルスの全体像を描き出します。この小さな賢い寄生体がどこから来て、本当は何がしたくて、どこへ向かうのか。それを考えることのできる一冊です。						
恐竜 —化石記録が示す事実と謎— (サイエンス・パレット 017) (※)	David Norman著 富田幸光監訳 大橋智之訳	2014年	9784621088272	¥3,300	¥4,950	1017973272
映画やテレビ番組の中でリアルに動き回る恐竜。まるで見てきたかのようなあの姿は、いったいどうやって復元されているのでしょうか？ そこには、古生物学者たちの努力と、最新技術の活用によって得られた様々な発見があります。恐竜は素早く動けたのか？ 知能はいかほどか？ 植物食恐竜はどのように植物を食べるのか？ 肉食恐竜の狩りのしかたは？ 古生物学者は、化石の形や大きさ、残っている傷などから、筋肉のつき方や姿勢、当時の環境を復元することで、これらの謎を解き明かしているのです。未知の巨大生物「恐竜」の発見から200年弱。限られた証拠をもとに、研究者たちがどのようにして恐竜の姿を復元してきたかをたどります。						

・表示価格は税抜きです。

・タイトル末尾の(※)はダウンロードが出来ません。

2019年2月